

今、新型コロナウイルスに振り回されています。

今回、中国で発症した新型コロナウイルスの話題を避けるわけにはいきません。感染者の数（4万人以上）や死亡者の数（1000人以上）は毎日増加の一途をたどっています。しかし、拡散率は徐々に減少しており、もう少しばらくすれば落ち着くはずですが。

人に感染するコロナウイルスはこれまで6種類あることが知られており、その内4つは軽い鼻かぜの原因です。風邪の10～15%はコロナウイルスが原因です。

後の2つが2002から2003年にかけて中国・広東省（こうもり）から発生してアジアを中心に流行した

「SARS (Severe Acute Respiratory Syndrome) **重症急性呼吸器症候群**」と、2012以降中近東を中心に流行が続いている

「MERS (Middle East Respiratory Syndrome) **中東呼吸器症候群**」でヒトコブラクダから感染し、ヒトーヒト感染もあります。

2015年には韓国で流行して感染者186人、死亡者38人で高い死亡率でした。

今回の新型コロナウイルスはSARSと同様な拡大を続けていますが、今のところ致死率では2.1%でSARS（約800人死亡）の10%に比べるとかなり低いように感じます。

また、今回の死亡者を見るとほとんど高齢者か糖尿病などを患っている人達で、幸いなことに小児の死亡者は聞こえてきません。普通に健康であれば罹ったとしても重症とはなり難い

と思ってもよいと感じます。

一方、新型コロナウイルスが流行している中、**米国ではインフルエンザが流行している**ようです。このシーズン（2019～2020）は米疫病対策センター（CDC）の発表では患者数2200万人以上、21万人が入院し、死亡者は1万2千人ということです。過去には2017～2018年には患者数4500万人、6万1千人が死亡しています。（産経新聞）

日本全体では、今年のインフルエンザの患者数は例年になく流行が抑えられているようです。新型コロナウイルスのお陰？で、**手洗い、うがい、マスク着用**を実行している人が例年より多い事と**ゾフルーザ**など抗ウイルス剤の**伝染阻止効果**と思っています。

一方、韓国からの旅行者が減少している中、中国からも来ないとなると沖縄など特に観光産業に従事している業界は多大な影響が出て、日本全体の経済の落ち込みが来ないかと懸念しています。

人類はこれまで病原菌やウイルスとの戦いの中で、予防接種や有効な薬剤の開発で対処してきた歴史があります。今回もまた新たな試練を乗り越えなくてはなりませんね。個人的には免疫力を高める生活を心がけたいものです。（たまなは）

